

令和5年度 岩手県立大学宮古短期大学部  
学校推薦型選抜・社会人選抜

解答例・出題の意図等

【問題全体についての出題の意図】

読解力・思考力・表現力を総合的に評価する。出題文に登場する「個人主義」と「集団主義」の意味を正しく理解し、設問の趣旨に沿って自分の意見を論じることが求められる。

〔問1〕

■解答例

ネアンデルタール人が滅び、現生人類が生き残ったのは、現生人類が集団主義を取ることができたからだ、と言われている。現代に置き換えると、集団主義では社会の規律を守ることが求められるが、それが厳しすぎれば、個人の自由は奪われ、その反動として個人主義に惹かれるようになる。しかし、個人が社会のルールを完全に無視して好き勝手に振る舞えば、社会は崩壊してしまう。集団主義と個人主義は、社会状況に応じてバランスをとることが大切なのである。(212字)

■評価のポイント

出題文で取り上げられている「個人主義」と「集団主義」とはどのようなものを正しく理解し、それらを対比させながら表現することが求められる。また、どちらも社会においては欠かせないものであると理解した上で、どうすればよいのか、出題文から読み取ることが評価のポイントとなる。

〔問2〕

■評価のポイント

出題文の「個人主義」と「集団主義」を、身近な例で的確に表現することが求められる。例えば、学校の校則や部活動等では、個人主義も集団主義も関係してくる。時には、それらの間で葛藤を抱えることもあるであろうし、なんとかバランスを保ちながら乗り越えてきた経験もあるかもしれない。このような内容を論理的に述べることができているかが、評価のポイントとなる。